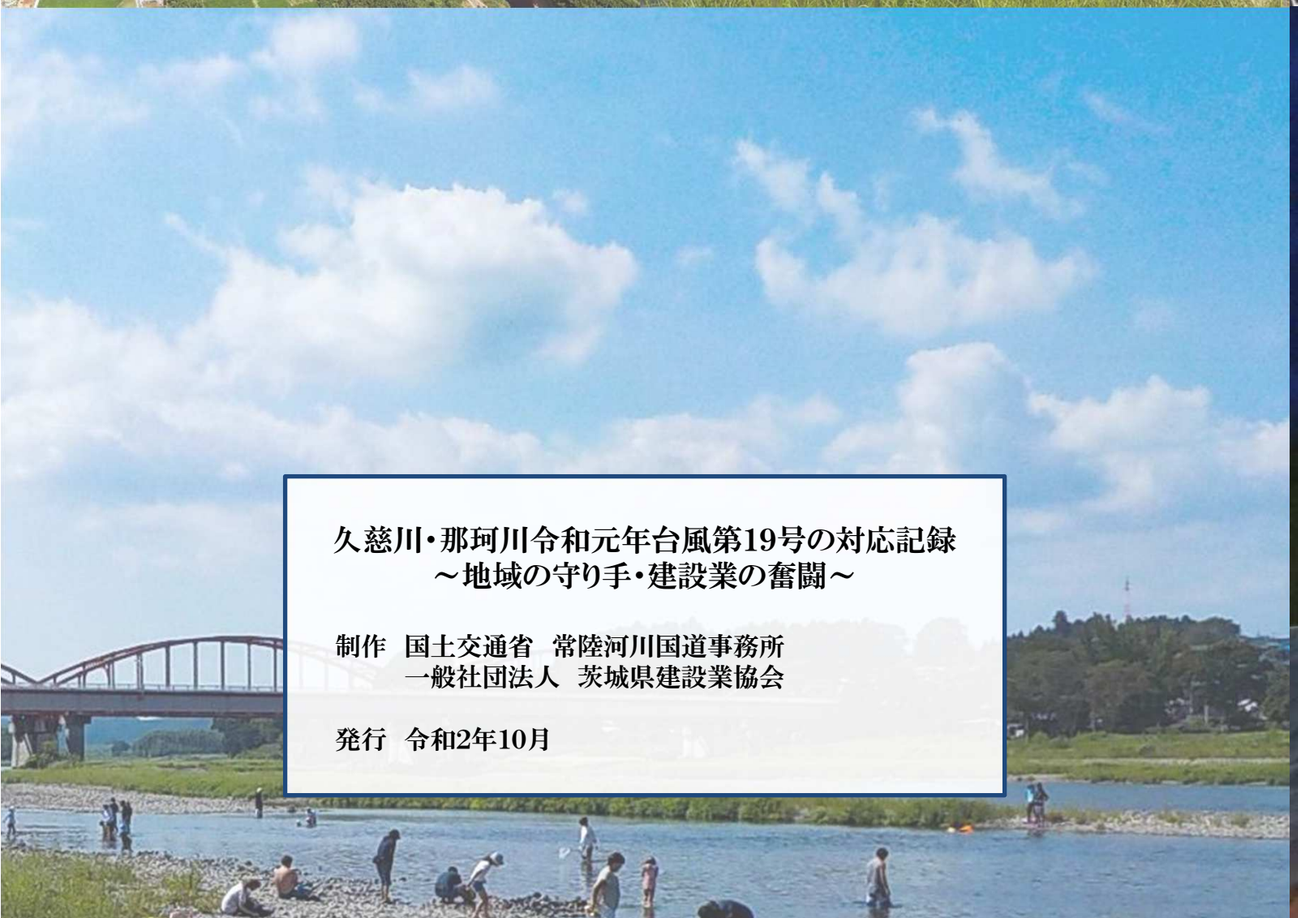
久慈川・那珂川令和元年台風第19号の対応記録
～地域の守り手・建設業の奮闘～



久慈川・那珂川令和元年台風第19号の対応記録
～地域の守り手・建設業の奮闘～

制作　国土交通省　常陸河川国道事務所
一般社団法人　茨城県建設業協会

発行　令和2年10月

記録的な大雨

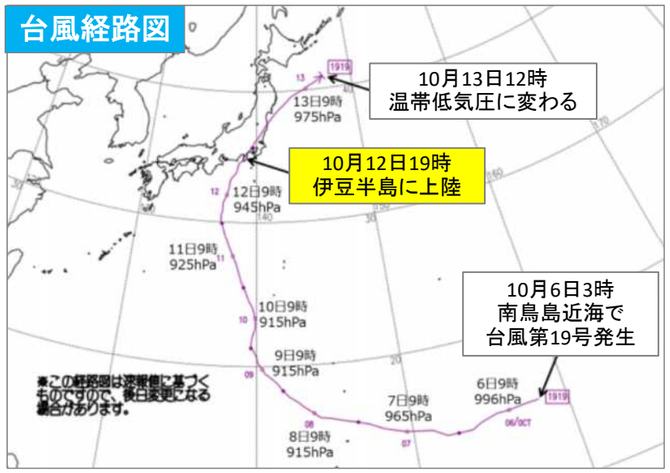
最大勢力（中心気圧）が915hPaに達した令和元年台風第19号の影響により、久慈川・那珂川流域では11日未明より雨が降り出しました。12日午後から夜遅くをピークに13日明け方まで降り続き記録的な大雨となり、久慈川・那珂川の両流域で広範囲の浸水被害が発生しました。

茨城新聞 2019年10月16日 27面

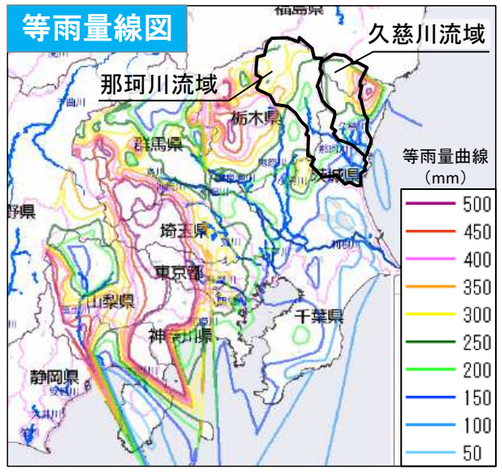
茨城新聞 2019年10月14日 26面

茨城新聞 2019年10月14日 1面

台風経路図



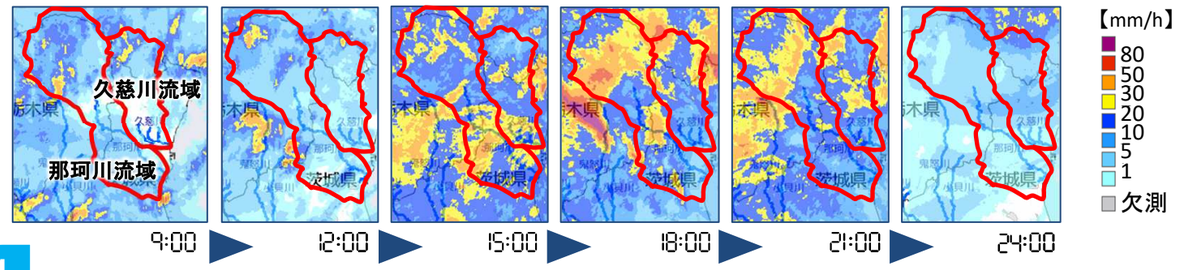
等雨量線図



等雨量線図雨量期間：10月10日20時～12日24時

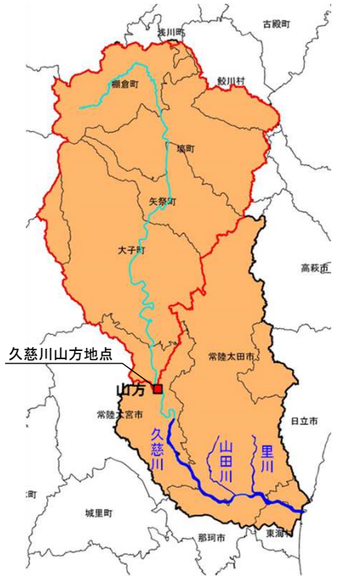
レーダー雨量図

10月12日

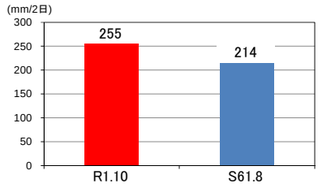


久慈川 今回洪水と前整備計画目標洪水（昭和61年8月洪水）との比較

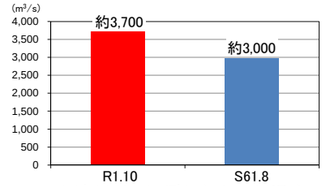
今回洪水において、2日雨量（流域平均）は前整備計画目標洪水（S61.8）の雨量を上回り、山方地点（基準地点）の流量は、前整備計画目標洪水（S61.8）の流量を上回りました。



山方地点上流域 2日雨量（流域平均）

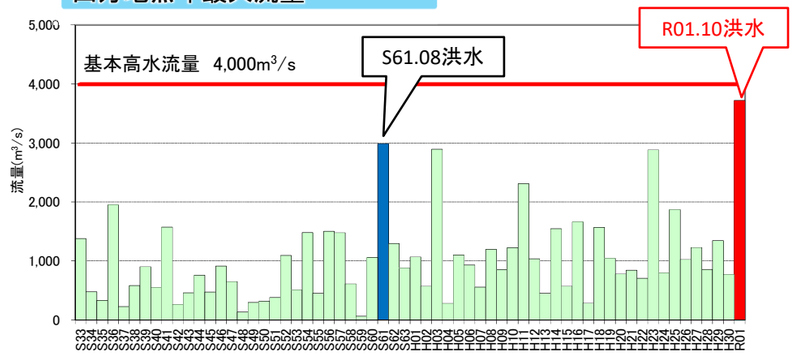


山方地点 流量



※流量は、氾濫しなかった場合の流量

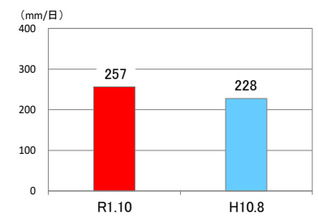
山方地点年最大流量



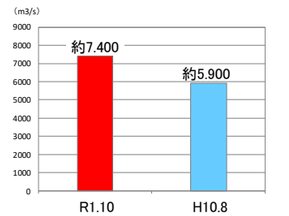
那珂川 今回洪水と前整備計画目標洪水（平成10年8月洪水）との比較

今回洪水において、雨量は1日に集中し、時間20mm以上の強い雨が長時間にわたり降り続き、日雨量（流域平均）では、前整備計画目標洪水（H10.8）の雨量を上回りました。また、那珂川の野口地点（基準地点）の流量は、前整備計画目標洪水（H10.8）の流量を上回りました。

野口地点上流域 日雨量（流域平均）

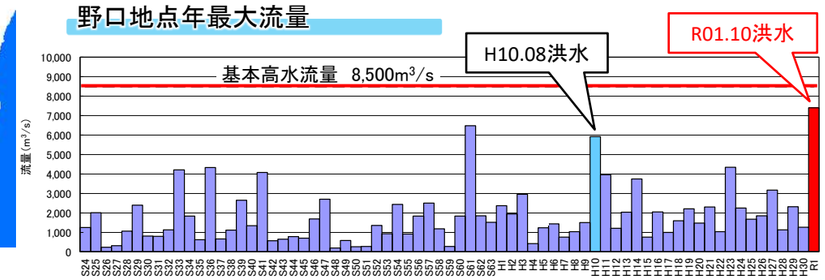


野口地点 流量



※流量は、氾濫しなかった場合の流量

野口地点年最大流量

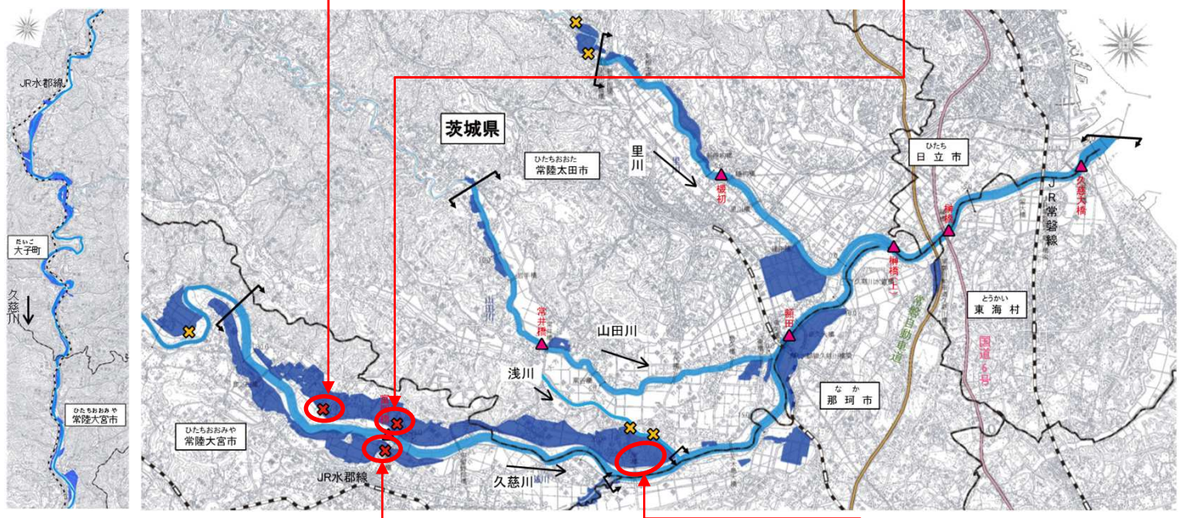


久慈川の氾濫状況

久慈川では、大臣（国）管理区間で3箇所決壊が生じるなど、被害家屋1,325棟、浸水面積約1,500haの被害が発生しました。

久慈川　常陸大宮市塩原

久慈川　常陸大宮市富岡



久慈川　常陸大宮市下町

久慈川　常陸太田市松栄町

※家屋被害：茨城県公表資料
（令和2年4月1日現在）
※浸水面積：常陸河川国道事務所調べ

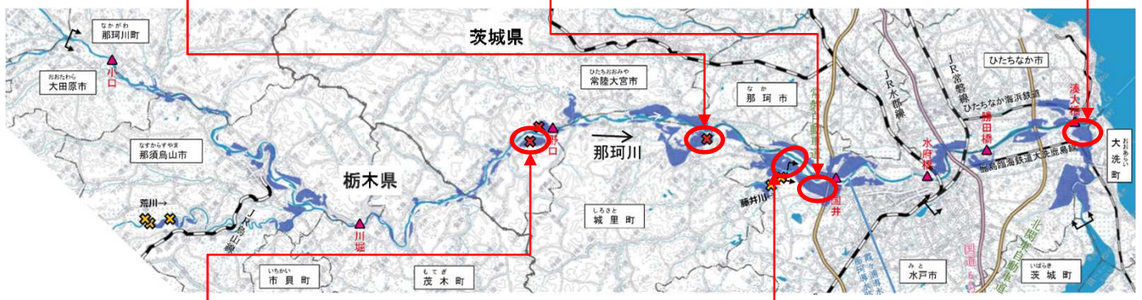
那珂川の氾濫状況

那珂川では、大臣（国）管理区間で3箇所決壊が生じるなど、被害家屋2,071棟、浸水面積約3,300haの被害が発生しました。

那珂川　那珂市下江戸
城里町下圷

那珂川　水戸市飯富町

那珂川 水戸市小泉町



那珂川　常陸大宮市下伊勢畑

那珂川　水戸市岩根町
藤井町

久慈川緊急復旧工事

全ての決壊箇所において、緊急復旧工事として被災前と同じ高さの堤防を昼夜にわたって施工し11月5日までに復旧しました。

珂北開発株式会社

◆工事区間：常陸大宮市富岡地区
（久慈川左岸25.5k-60m
～25.5k+330m付近）
◆延長：L=390m

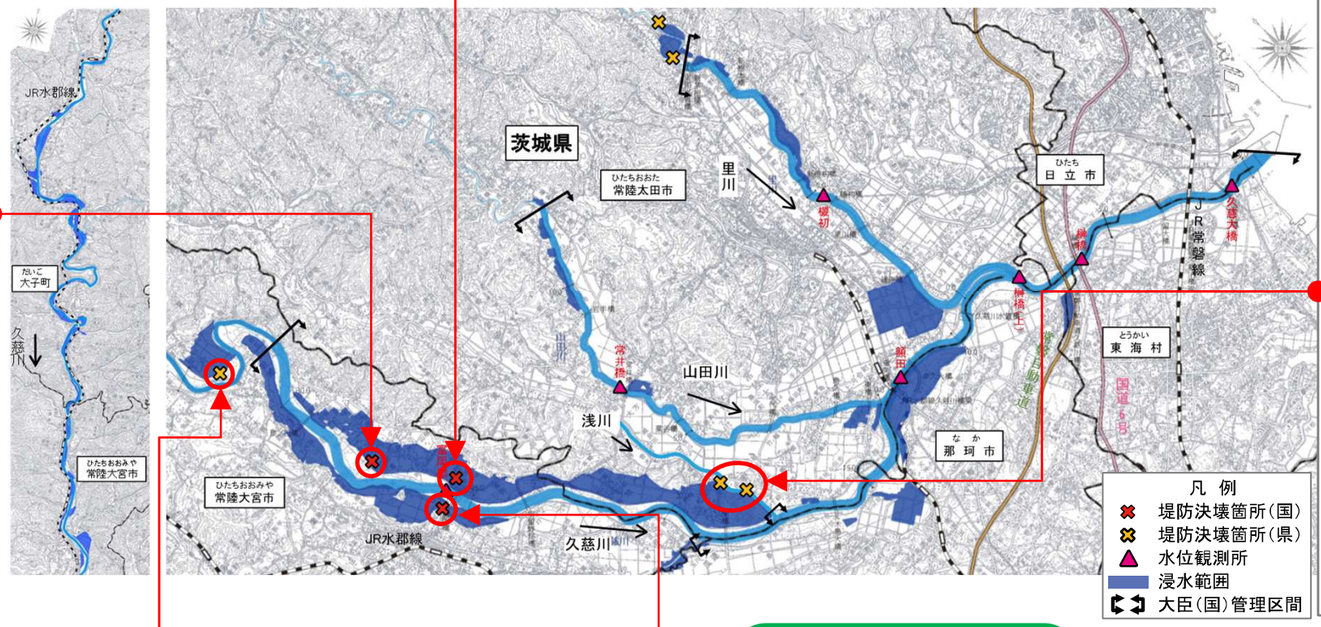
株式会社井坂組

◆工事区間：常陸大宮市富岡地区
（久慈川左岸25.5k-60m
～25.5k+330m付近）
◆延長：L=390m

増子建設株式会社

◆工事区間：常陸大宮市塩原地区
（久慈川左岸27.0k+167m
～27.0k+231m付近）
◆延長：L=64m
※P9にインタビューあり

◆工事区間：常陸大宮市小貫地区
（久慈川左岸34.0k付近）
◆延長：L=60m



赤羽国土交通大臣らによる被災箇所視察

株式会社梅原工務店

◆工事区間：常陸太田市松栄町地区
浅川右岸0.4k、右岸1.6k付近）
◆延長：L=60m、L=40m
※P9にインタビューあり

株式会社秋山工務店

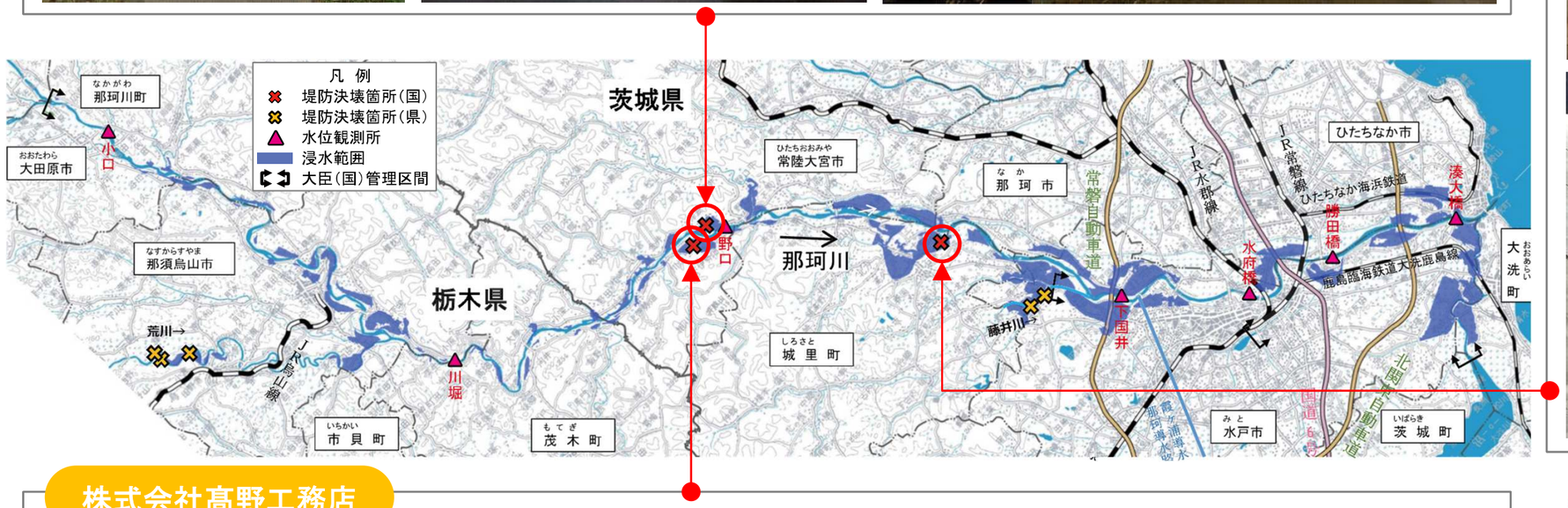
◆工事区間：常陸大宮市下町地区
（久慈川右岸25.5k+18m
～25.5+58m付近）
◆延長：L=40m

那珂川緊急復旧工事

全ての決壊箇所において、緊急復旧工事として被災前と同じ高さの堤防を昼夜にわたって施工し11月4日までに復旧しました。

長山工業株式会社

◆工事区間：常陸大宮市野口地先（那珂川左岸40.0k-147m～40.0k+53m）
◆延長：200m
※P10にインタビューあり

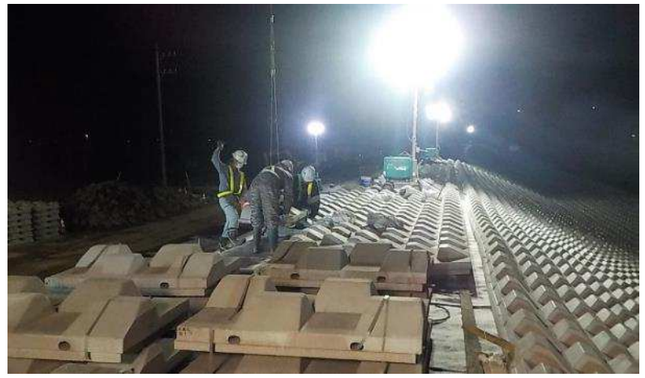


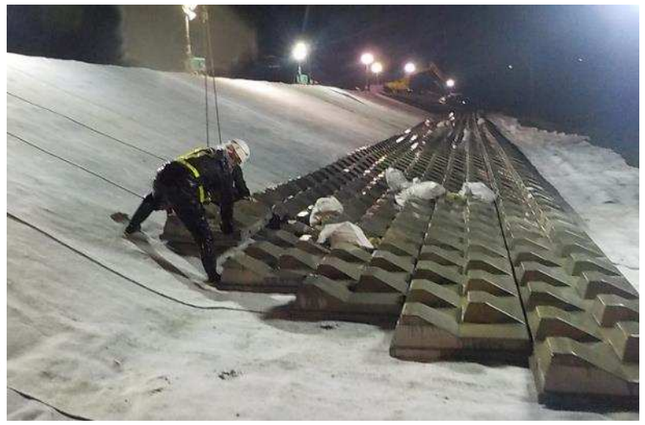
株式会社髙野工務店

◆工事区間：常陸大宮市下伊勢畑地区
（那珂川右岸41.0k+28m～41.0k+278m）
◆延長：250m

高橋建設工業株式会社

◆工事区間：那珂市下江戸地区
（那珂川右岸28.5k+221m～28.5k+471m）
◆延長：250m
※P10にインタビューあり





赤羽国土交通大臣らによる被災箇所視察

地域の守り手として　～担当技術者へのインタビュー～

台風第19号による堤防の決壊直後から、緊急復旧工事に御尽力いただいた地域の建設業者の方々に当時の状況や“今後の想い”ついてお聞きしました。

増子建設株式会社（P5 久慈川 常陸大宮市塩原地区を担当）

桐原 伸市 氏

現場の光景

堤防決壊箇所に隣接した家屋は全壊に近く、家族、友人、親戚など、子供からお年寄りまでが集まって後片付けを黙々と行っている姿が目に焼きついています。

現場の苦労

現場到着時は、堤防までの道路が土砂等で埋まり、寸断され、道路が冠水していたため、進入路の整備から着手しました。また、照明器具（投光器）が不足し、現場で必要な台数の確保に難儀しました。

次に備える

最近の洪水被害は、今までに経験したことのないことが起きる時代です。防災意識や備え等が必要だと実感しております。私は地域の建設業者として、地域全体の方々が安心して生活できる街にしたいと思います。

常陸大宮市塩原地区
（久慈川左岸27.0k付近）

株式社梅原工務店（P6 浅川 常陸太田市松栄町地区を担当）

佐藤 祐樹 氏

言葉を失う

台風第19号の現場に到着したときは言葉を失いました。何故こうなるのか、と本当に自然の力は想像を超えてくると、痛感しました。

災害現場の勘所

緊急復旧工事は、通常工事と違って現場の状況をその場で判断、理解して工事の段取りをしなくてはならないことが大変でした。また、24時間対応で施工していたため、引継ぎの打合せも重要でした。

安心させてあげたい

緊急復旧工事の施工中は、近くに被災した家があり、家主から被災状況を聞いていたので早く工事を完成して、安心させてあげたいと思いました。今後もふるさとで災害が発生した場合は、建設業に就いている以上は、担当したいと思います。

常陸太田市松栄町地区
（浅川右岸0.6k付近）

長山工業株式会社（P7 那珂川 常陸大宮市野口地区を担当）

長山 朋之 氏

埋没した道路、県の協力

決壊箇所までの道路が土砂で埋没していたため、容易には近付けず、排水が完了するまでに一晩掛かりました。また、各種資機材や人員の確保に苦労しました。堤体に使用する土砂は、県発注工事の残土を利用することができ、助かりました。

災害現場では、地元や各自治体の協力が大きな力になることを痛感しました。

また、被災箇所は会社の地元であるため、地域の守り手としての誇りを持って施工にあたりました。

災害時の建設業者の役割

緊急復旧工事を建設業者が行っていることをメディアは報じません。日の目は見なくとも、被災箇所は私の地元ですし、地元業者が施工することは当然のことで、地域の守り手としての誇りを持って施工にあたりました。今後、ふるさとで災害が発生した場合は、もちろん、復旧工事に参加します。

常陸大宮市野口地区
（那珂川左岸40.0k付近）

高橋建設工業株式会社（P8 那珂川 那珂市下江戸地区を担当）

成田 安側 氏

一日でも早く

緊急復旧工事は、資機材等の手配がとても大変でした。

そして施工中は、被災した地域の方が安心して暮らせるように、一日でも早く完成させようと工事にあたりました。

災害の激甚化

私は、地図に残る仕事がしたいと思い建設業を選びました。ふるさとで災害が発生した場合は、少しでも力になるのであれば、復旧工事を担当したい。最近の洪水被害は、計画を上回っており、堤防自体を強化・嵩上げすることが必要だと感じています。

建設業の使命

わが社は、地域社会に貢献するという経営理念です。地域の復旧・復興が私たち建設業者の使命だと思います。

那珂市下江戸地区
（那珂川右岸28.6k付近）

緊急治水対策プロジェクトの紹介

久慈川および那珂川緊急治水対策プロジェクトは、国・県・市町村が連携し、令和元年台風第19号により甚大な被害を受けた久慈川・那珂川水系の社会経済被害の最小化を目指し、下記に記した二大柱の治水対策を掲げ、プロジェクトを進めています。

①多重防御治水の推進

三位一体の対策

河道の流下能力の向上
（土砂掘削、樹木伐採による水位低減、堤防整備等）

遊水・貯留機能の確保・向上
（遊水地・霞堤の整備、保全・有効活用等）

土地利用・住まい方の工夫
（土地利用制限、家屋移転等）

②減災に向けた更なる取組の推進

関係機関等が連携した、円滑な水防・避難行動のための体制等の充実

- 重要度に応じた情報の伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組
- 関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組

標語、ロゴマークを作りました！

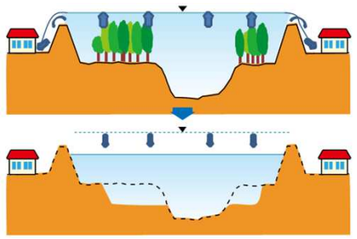
標語は、国・県・市町村が一体となってプロジェクトを推進する意思を、ロゴマークは地域の安全・発展への想いを込めてプロジェクトメンバーで考えました。

ともに築こう まち・みらい
久慈川・那珂川 緊急治水対策プロジェクト

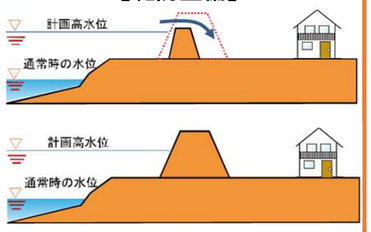
①多重防御治水の推進 1．河道の流下能力の向上

河道内の土砂掘削、樹木伐採により水位低減を図るとともに、掘削土を活用して堤防整備することで、洪水が円滑に流れやすい河道整備を推進します。

【河道内の土砂掘削・樹木伐採】



【堤防整備】



①多重防御治水の推進 2．遊水・貯留機能の確保・向上

①多重防御治水の推進 3．土地利用・住まい方の工夫

住宅の嵩上げ・輪中堤※の整備など
（土地利用一体型水防災事業）

高台整備・高台移転など
（防災集団移転促進事業）

久慈川

緊急治水対策プロジェクトマップ

②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

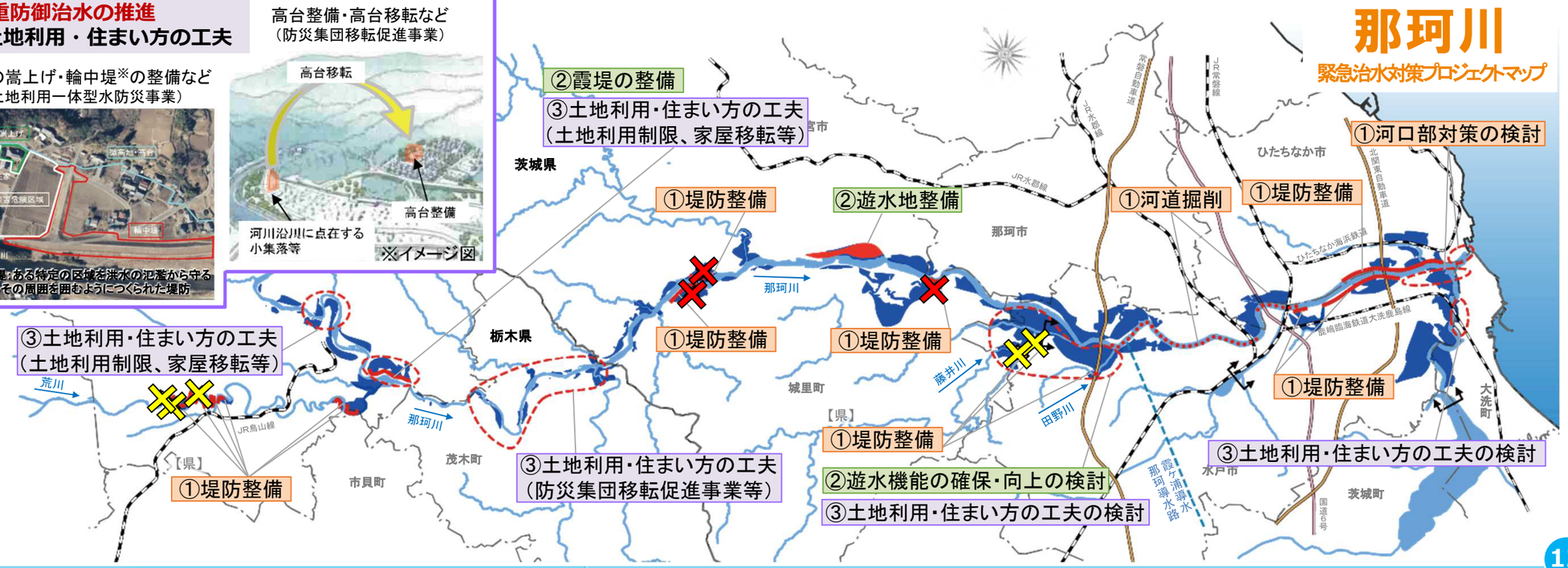
センサーが決壊を検知して情報送信など

避難確保計画作成講習会の様子

※権限代行：激甚、頻発化する水害に対応するため都道府県等管理河川で災害復旧工事などを国土交通大臣が代わって実施できる制度。

那珂川

緊急治水対策プロジェクトマップ



緊急治水対策プロジェクト進捗状況

決壊箇所の堤防が完成

常陸大宮市下町地区（久慈川右岸 25.5k付近）

那珂市下江戸地区（那珂川右岸 28.5k付近）

久慈川緊急治水対策河川事務所を令和2年4月に開設

危機管理型水位計と簡易型河川監視カメラを設置

自治体職員向けの災害対策用機器の操作講習会を開催

治水対策に関する説明会、意見交換会を開催

謝 辞

令和元年東日本台風被害を振り返る　～石津会長と原田事務所長の対談～

○昨年の災害当時を振り返って

＜原田所長＞　令和元年東日本台風により久慈川水系、那珂川水系において堤防決壊などの被害が多数発生しました。災害協定を締結している地域の建設会社のご協力の下、昼夜を問わない不眠不休での作業により緊急復旧工事を無事完了させることができ、地域の建設業者の重要性とその技術力を改めて認識した次第です。昨年11月には事務所から関係会社に、今年2月には整備局長からは茨城県建設業協会に感謝状を贈呈させていただきました。多方面でご尽力いただいた貴協会及び関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

右：石津会長（一般社団法人茨城県建設業協会）
左：原田所長（常陸河川国道事務所）

○地域建設業の活躍について

＜石津会長＞　久慈川と那珂川における決壊箇所の緊急復旧にあたっては、地元の支部会員各社が対応してくれました。夜間作業や資機材調達など、各社さまざまな苦労があったと思います。感謝状は緊急復旧工事を無事に完成させた各社の励みになると感じています。

　また本会は、台風第19号で被災された方々に何かできることはないかと考え、被害の少なかった支部の会員企業の協力を得て、被災地の一般家庭における災害ゴミ搬出・運搬などのボランティア活動を実施し、住民の方から大変感謝されました。緊急復旧工事と合わせて、図らずも、建設業が地域における安全・安心の担い手であることを理解していただく機会になったと感じています。

○災害を踏まえた、緊急治水対策プロジェクトについて

＜原田所長＞　今年1月に久慈川と那珂川の「緊急治水対策プロジェクト」を関係自治体、気象台と共にとりまとめ、令和6年度までの集中的な取り組みとして、具体的には「多重防御治水の推進」と「減災に向けた更なる取組の推進」の2本柱により、社会経済被害の最小化を目指すこととしています。多重防御治水の推進に向けて、河道の流下能力の向上、遊水・貯留機能の確保・向上、土地利用・住まい方の工夫を三位一体の対策として取り組みますが、これらの事業を推進するには地域の建設業者の皆様の協力が不可欠と考えています。

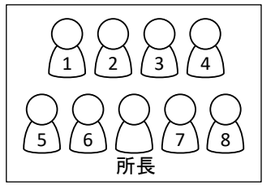
＜石津会長＞　将来に向けて、大変重要なプロジェクトだと思います。「地域の安心・安全を守る」地域建設業として、全力で協力していきたいと考えております。

○地域の建設業について

＜原田所長＞　気候変動の影響も有り、全国各地で自然災害が多発していることからも、国土強靭化に向けた取り組みをより一層強化する必要があると考えています。また、被災後の迅速な復旧は行政の責任で行う必要がありますが、建設業界はその共同事業者であり、将来にわたり地域の安心・安全を守るには地域の建設業者の皆様の役割はより重要になります。常陸河川国道事務所、久慈川緊急治水対策河川事務所をはじめとする茨城県に関係する13事務所共々、地域のため頑張って参りたいと考えています。

＜石津会長＞　地震、台風、豪雨など自然災害は、近年、頻発化、甚大化していますので、国土強靭化対策は、計画的、継続的に進めていただきたいと思います。本会は「地域の守り手」として、ふるさと茨城を守るため、災害時の緊急復旧はもちろん、社会資本整備を通して、地域の安全・安心を守るという社会的使命を引き続き果たしていきたいと考えております。

並び順



令和元年11月26日

感謝状贈呈企業一覧

1. 増子建設株式会社
2. 株式会社秋山工務店
3. 株式会社髙野工務店
4. 株式会社梅原工務店
5. 株式会社井坂組
6. 珂北開発株式会社
7. 高橋建設工業株式会社
8. 長山工業株式会社